

各県だより 速報版

鹿児島県遊協が鹿児島県と「災害発生時における施設使用等に関する協定」を締結

鹿児島県遊技業協同組合（正吉浩理事長）は、2021年3月25日（木）、鹿児島県と「災害発生時における施設使用等に関する協定」を締結した。

協定に基づき、県内で災害が発生した際、組合員ホールが整備・管理する駐車場等の施設を地域住民の避難場所や災害対応に当たる車両の待機場所として提供するとともに、「帰宅困難者の支援ステーション」として帰宅困難者に水道水、トイレ等を提供する。

同県遊協では、2020年7月開催の理事会において、組合員から「組合、業界として、真に社会に貢献していることを示す取組を行うべきではないか。」との提案がなされたことを受け、鹿児島県危機管理局危機管理課に協定を打診し、具体的な支援内容の協議を進めてきた。

当日行われた協定締結式には、同県遊協から正理事長はじめ組合役員、鹿児島県側から塩田康一知事ほか危機管理局長以下幹部職員が出席し、協定書を手交した。

○協定締結式の模様



各県だより 速報版

佐賀県遊協が佐賀県と「災害発生時における協定」を締結

佐賀県遊技業協同組合（新富和紀理事長）は、2021年4月13日（火）、佐賀県と災害時等に佐賀県遊協加盟の組合員店舗の駐車場を付近住民の一時避難場所として使用する等の災害協定を締結した。

本協定に基づき、災害時及び災害が発生するおそれがある場合において、「地域住民の自家用車等の一時避難場所」や「実働部隊の駐車場」として、可能な限り組合員ホール駐車場を提供するなどの協力を行うもの。

当日の協定書締結式には、佐賀県側からは山口祥義佐賀県知事、同県危機管理報道局長、危機管理防災課長、同県遊協側からは新富理事長、野中伸一副理事長、森永章副理事長が出席し、山口知事と新富理事長が協定書に署名し、災害協定が締結された。

○協定締結式の模様



各県だより 速報版

福島県遊連が福島県、福島県警察本部と「災害時における支援協力に関する協定」を締結

福島県遊技業協同組合連合会（諸田英模理事長）は、2021年4月21日（水）、福島県、福島県警察本部と「災害時における支援協力に関する協定」を締結した。

本協定は、東日本大震災から10年が経過しているなか県内には未だ多くの帰宅困難地域の避難者がいること、震災以降も大規模災害が発生していることから同県遊連から提案したもので、協定に基づき、災害発生時に一時避難のための組合員ホール駐車場の提供、帰宅困難者への水、トイレ（店舗によっては防災備蓄品を含む）の提供を行う。また、災害救助活動を行う警察、消防、自衛隊等の活動拠点としてホール駐車場などを提供する。

当日の協定書締結式は、福島県危機管理部長、福島県警察本部警備部長、同県遊連諸田理事長が出席し、協定書を手交した。

○協定締結式の模様



各県だより 速報版

大遊協国際交流・援助・研究協会が外国人留学生に奨学金を交付

公益財団法人大遊協国際交流・援助・研究協会（大遊協財団、上浦文雄理事長）は2021年4月7日、「令和3年度外国人留学生奨学金受給証書交付式」を開催した。

大遊協財団は大阪府内で居住しかつ活動する外国人に対する国際交流事業、犯罪・事故被害防止の啓発事業等の推進並びに大阪府内に居住し、かつ大阪府内の大学に通学する留学生に対する奨学金支援事業等を行い、もって国際交流の推進と国際都市大阪の発展に寄与することを目的に、大阪府遊技業協同組合（平川容志理事長）の社会貢献事業のひとつとして設立された。

事業の柱となる奨学金交付事業は府下の大学に在籍する外国人留学生を対象としており、今年度は6カ国14大学の学生21名（新規7名と継続14名）への奨学金受給を決定し、交付式当日は上浦理事長より新規・継続それぞれの代表者に受給証書が手渡された。

財団は今年7月で満30年を迎えるが、これまでの奨学金受給者は、今年の新規7名を加えて実人員で414名、延べ920名（26カ国・地域、39大学）となる。

式典は新型コロナウイルス対策として、必要最小限の規模にして、感染対策には最大限の配慮が行われた上で開かれた。受給証書の交付の後、ドイツ出身の奨学生代表者から、「奨学金のおかげで学業に専念することができます。夢を実現する為にがんばっていきたい。」との謝辞が述べられた。

○奨学金受給証書交付式の模様



各県だより 速報版

山梨県遊協が山梨県に新型コロナウイルス簡易検査キットを寄贈

山梨県遊技業協同組合（星野謙理事長）は、2021年5月10日（月）、山梨県が本年度より専門家を参画させた「山梨県知事直轄組織感染症対策グループ」を発足させ、新型コロナウイルスの感染拡大予防対策の一環としてPCR検査等を積極的に行うことを発表したことを受け、山梨県庁内で長崎幸太郎知事に新型コロナウイルス簡易検査キットを300セット寄贈した。当日は、山梨県庁知事室で寄贈式が行われ、同県遊協星野理事長が長崎幸太郎山梨県知事に寄贈品の目録を手渡した。

寄贈に際し、星野理事長から、「当組合は、昨年全国に先駆けて組合員全店が一斉休業を行い、独自のガイドラインを作成して、休業の個別解除を受けて、感染予防対策を徹底し営業を行ってきた。全国的にもパチンコ店でのクラスターが発生していないことは、県のご指導と助言をはじめ、最前線で治療等を行っている医療従事者などのおかげであると感謝している。今後も気を緩めることなく感染対策を行っていく。昨今の変異ウイルスによる感染が拡大する中、組合員として何か、感染拡大予防対策にお役に立ちたいという思いから一同で熟慮し、県が新たに取組を開始した感染対策がコロナ終息に向けて効果が上がるよう、今回支援をさせていただいた。」との挨拶があった。

寄贈に対し、長崎幸太郎山梨県知事から謝辞が述べられるとともに、同県遊協に感謝状が授与された。

○目録贈呈の様と感謝状（右）

